⑶　垂直解像度補強信号を、水平走査方向に３分の１に圧縮した後、圧縮前の３ライン分を走査順に１ライン上に配列し、ラインの始まりから交互にラインの極性を反転させると同時に、前のフレームの同じ位置のラインとも極性が反転するように処理した後､振幅を２分の１にした信号と、垂直時間解像度補強信号を水平走査方向に３分の１に圧縮した後、圧縮前の３ライン分を走査順に１ライン上に配列した信号を加算した信号で、垂直補強信号副搬送波を搬送波抑圧振幅変調した信号を垂直補強信号とする。

注１　垂直補強信号は、垂直解像度補強信号又は垂直時間解像度補強信号のどちらか１のみでも構成できるものとする。

２　垂直解像度補強信号及び垂直時間解像度補強信号は、それぞれ水平走査方向に圧縮される前に、次に示す低域通過特性によって帯域制限を受けたものとする。

0.8MHzにおいて　６dB未満の減衰
1.0MHzにおいて　６dB以上の減衰
1.2MHzにおいて　20dB以上の減衰

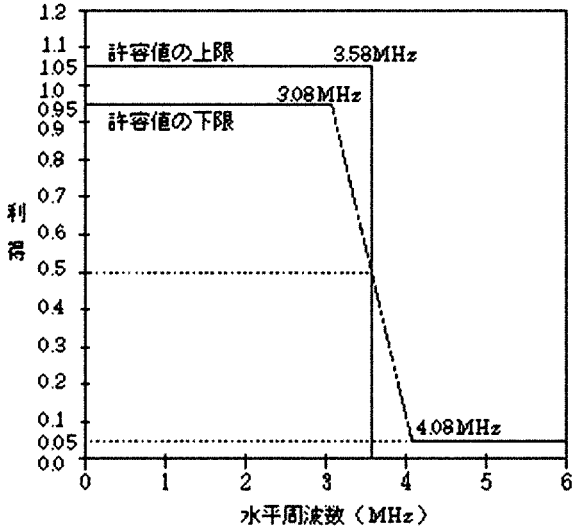
３　順次走査から飛越走査に変換する際、垂直解像度補強信号は、主画部信号（標準テレビジョン文字多重放送の標準方式別図第一号に示す第53Hから第232Hまで及び第316Hから第495Hまでの水平走査期間に対応する映像信号をいう。以下同じ。)と同一のラインをとるものとし、垂直時間解像度補強信号は、主画部信号を補間するラインをとるものとする。

４　垂直補強信号は、総務大臣が別に告示する妨害低減（重畳した垂直補強信号による画面上での視覚的な妨害を低減することをいう。)の技術的条件により妨害低減を行うものとする。

５　極性反転は、最初のフィールドの第nHの水平走査期間に重畳されるラインと次のフィールドの第（ｎ＋263）Hの水平走査期間に重畳されるラインの極性が一致するように行われるものとする。この場合において、基準フレーム（補強信号の位相の基準となるフレームをいい、基準フレームと他のフレームは交互に繰り返されるものとする。以下同じ。)の最初のフィールドの第23Hの水平走査期間に重畳されるラインの極性を正とする。

６　垂直補強信号副搬送波の周波数は、色信号副搬送波と同じ周波数、位相は、カラーバーストの位相に対して147度遅れたものとし、振幅は、１とする。

７　垂直補強信号は、変調後振幅を２倍とした後、次に示す特性を持つナイキストフィルタにより、帯域が制限されるものとする。この場合において、色信号副搬送波の周波数におけるナイキストフィルタの利得は、0.5を基準とする。



⑷　垂直補強信号を重畳する場合、主画部信号は、480本のラインで構成される輝度信号を360本のラインに変換した後、順次走査から飛越走査に変換した信号とする。

注１　垂直解像度補強信号を含む垂直補強信号を重畳する場合、480本のラインで構成される輝度信号に対して次に示す低域通過特性による帯域制限を行った後、360本のラインに変換するものとする。

180lphにおいて　１dB未満の減衰
360lphにおいて　20dB以上の減衰

２　垂直時間解像度補強信号を含む垂直補強信号を重畳する場合、順次走査の信号に対して次の係数を重みに持つ垂直空間周波数フィルタによる帯域制限を行った後、飛越走査に変換するものとする。

ライン番号	係数
ｎ－２	－１／８
ｎ－１	２／８
ｎ	６／８
ｎ＋１	２／８
ｎ＋２	－１／８

別表第四号（第９条第３項関係）

垂直補強信号を重畳する位置

53≦M≦142、316≦M≦405のとき、

$$m=\mathrm{INT}\left(\frac{M-53-263(P-1)}{3}\right)+23+263(P-1)$$

143≦M≦232、406≦M≦495のとき、

$$m=\mathrm{INT}\left(\frac{M-143-263(P-1)}{3}\right)+233+263(P-1)$$

N＝３L＋５（Lは正の整数）のとき、

$$n=\mathrm{INT}\left(\frac{N-7}{3}\right)+7+252\left((M-53-263(P-1))-3\,\mathrm{INT}\left(\frac{M-53-263(P-1)}{3}\right)\right)$$

注１　mは、標準テレビジョン文字多重放送の標準方式別図第一号に示す第MHの水平走査期間の輝度信号に対応する垂直補強信号を重畳する水平走査期間の番号を示す。

２　ｎは､第MHの水平走査期間の第N番目の画素(色信号副搬送波の４倍の周波数でカラーバーストに対して57度遅れた位相と同期したクロックにより水平走査期間を標本化したものをいう。ただし、別表第八号に示すＢ１後縁の立ち下がりにおける振幅値の50%点直後の画素を第35番目の画素とする。以下同じ。)に対応する垂直補強信号を重畳する第mHの水平走査期間中の画素の番号を示す。

３　INT［A］は、実数Aの整数部分を表す。

４　Pは、最初のフィールドのとき、Ｐ＝１、次のフィールドのとき、Ｐ＝２とする。

５　Nは、６から762までの整数とする。